

学校だより

みなみの風



令和6年1月号(1月22日発行)

まじめに げんきに ほがらかに
《にこにこ・はきはき・きびきびした南の子》
児童数 372名 TEL 253-5304

～「昇り龍」のごとく、飛躍の年に～

校長 高味修一郎

新しい年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ご家族とともに、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年中は、本校の教育活動に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。そして、令和6年が皆様にとりまして、昇り龍のように運気が上り、幸多き年となりますよう祈念いたします。

その一方で、1月1日、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。同年代の子供たちが、未だに学校生活を送ることができない現状を、そして、今日を、明日を、未来を生きたかった同年代の子供たちが亡くなっている現状を、わたしたちはしっかりと受け止め、一日一日を大切にしながら全力で生き、災害を「自分事」として考え行動していくことが大切だと改めて思うことです。この地震により、尊い命を奪われた方々のご冥福をお祈りするとともに、今もなお避難所で身を寄せ合って生活を送る方々が一日でも早く平穏な生活へ戻ることを心より願っております。

さて、9日にスタートした3学期は、53日間と大変短いですが、現在の学年で培った力をそれぞれの場で表現する時期であると同時に、令和5年度を振り返りながら、身に付けてきたことをさらに定着させる期間です。自分の夢を叶えるために、様々なことに挑戦し、一歩一歩着実に努力を続けてほしいと思います。子供たちが夢や願いを実現させるための力を付けられるように、令和6年も教職員一同、努力して参ります。保護者の皆様、地域の皆様には、今後も変わらぬご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

一人一人の思いやりが事故ゼロに...

昨年の12月5日から、学校近くの歩道橋が改修工事のため使用できなくなっています。昭和50年3月に設置されて以来、ずっと通学路として利用してきただけに、下の横断歩道を渡らせることに若干の不安もありましたが、ご家庭での声掛けと地域の皆様方に見守っていただいているおかげで、大きな事故やケガもなく、ここまでできていくことに心から感謝を申し上げます。

歩行者、ドライバーのそれぞれ一人一人の思いやりが、事故ゼロにつながるのではないかと思います。特にこの横断歩道は、左折する車の方からもお互いに視認しにくい位置にあるので、しっかり左右を確認してから横断してほしいと思います。状況によっては、ドライバーに先を譲って、安全を確保することも必要になってくるかもしれません。事故やケガに遭わない・起こさないためにも、みんなが「思いやりの心」を大切にしてほしいと願っています。



【2月・3月の主な行事予定】

2月

- 1日(木) なわとび大会【1年〔2校時〕・3年〔3校時〕・5年〔5校時〕・6年〔6校時〕】
- 2日(金) なわとび大会【2年〔2校時〕・4年〔3校時〕】
- 11日(土) 土曜授業日
- 12日(月) 建国記念の日振替休日
- 15日(木) 新1年生入学説明会
- 27日(火) 授業参観・学級保護者会(上学年)
- 29日(木) 授業参観・学級保護者会(下学年)

3月

- ※2月の教育相談日 7日(水)・8日(木)
- 1日(金) 6年生を送る会・お別れ遠足
- 7日(木) 特別支援学級卒業と進級を祝う会
学級保護者会
- 22日(金) 第67回卒業式
- 25日(月) 修了式・離任式



学校行事や教育活動については、現在のところ予定通りを考えていますが、直前であっても内容の変更及び中止もあり得ますので、あらかじめご了承ください。

正しい知識と理解が大切です

本校では、毎年「生命の大切さを考える学習」に取り組んでおり、5年生が「生命の誕生」について、6年生が「がん」について、それぞれ講師の先生をお招きして、専門的な見地から生命の大切さに関する知識と理解を深める学習を行っています。

1月18日に行われた6年生の「がん教育」の学習では、NPO法人がんサポートかごしまのお二人の先生から、ご自身の体験を通したお話を聴かせていただきました。この「がん教育」は、がんという病気について正しい知識と理解をもつとともに、がんとうき合う人々と触れ合うことを通して、自他の健康と命の大切さに気づき、共に生きる社会づくりを目指すことが大きな目的です。日本人の2人に1人が、がんにかかると言われています。がんの全



てについて、生活習慣に原因があるというわけではないので、大人はもちろん、子どもたちにもがんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心を持ち、適切に対処するための正しい知識と、心構えをもつ必要があるのではないかと思います。ご家庭でも機会をとらえて話題にいただき、「生命の大切さ」について考えていただくと幸いです。がんに関する詳しい情報は、以下のサイトでご覧いただけます。

【がん情報サービス ganjoho.jp】